

常任委員会における審査内容の報告



委員会名	総務常任委員会
------	---------

議案名
議案第1号 令和5年度宜野湾市一般会計補正予算（第8号） 【審査：令和6年3月定例会】
議案等の主な内容
令和5年度宜野湾市一般会計予算について、補正額として1億7,958万8千円を増額し、予算総額を歳入歳出それぞれ573億4,527万2千円とする内容です。 補正予算のうち、繰越明許費補正として、例年に比べて多くの建設事業等があげられており、それについて質疑がなされました。
審査内容（質疑応答、議員間討議）
<p>【質疑】</p> <ul style="list-style-type: none">・繰越明許費補正について、今回非常に多くの事業が次年度に繰越となっているが、前年度と比較してどれほど増えているのか。 <p>【答弁】</p> <ul style="list-style-type: none">・令和4年度の事業の繰越件数は23件、事業費合計が31億円余となっており、令和5年度は37件で、事業費合計が62億円余となっている。 <p>【提言】</p> <ul style="list-style-type: none">・単年度主義という予算の原則からすれば、これだけ多くの事業が繰越となり執行できない状況があり、年度当初の予算計上においても、単年度で事業を遂行していけるのかも含めて検討すべきである。
表 決
全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

～参考資料～

【資料①】

字句等の説明

★補正予算とは？（当初予算との比較）

予算の種類	予算の内容・編成スケジュール等
当初予算	<p>その年度においてどのくらいの経費が必要で、そのための財源をどうするかを見積もった上で、年度当初で計上する1年間の予算をいいます。</p> <p>例年、市当局において前年度の10月下旬ごろから見積もり等の準備を始め、財政担当部署のヒアリング、査定を受けて、市議会の3月定例会に当初予算案として上程され、議決を得て成立することが一般的です。</p>
補正予算	<p>当初で決定した予算について、その年度中において予想しなかった環境の変化や政策の変更等があった際に対応するのが補正予算です。</p> <p>当初予定しなかった環境変化等に対応するものであるため、その補正を要する時期までに補正予算案として議会へ上程し議決を得る必要があります。通常、年4回の定例会（6月・9月・12月・3月）へ上程されますが、それでは間に合わない場合は、臨時議会が開かれることもあります。</p>

★繰越明許費補正とは？

予算の原則として、「**その年度の歳出はその年度の歳入によってまかなうこと**」とされており、これを**会計年度独立の原則**といえます。

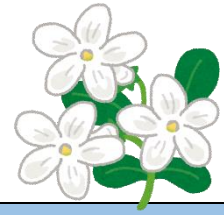
しかし、事業が何らかの理由で、年度内に終了せず、不用となった額があれば、その不用額と同額の歳入予算（財源）も余っている状況となります。この**不用額分に相当する歳入（財源）を次年度に繰り越して使用できるようにする補正**のことを指します。

★予算単年度主義とは？

自治体の会計は、原則として**単年度会計**となっており、議会では毎年度予算を審議しています。これを**予算単年度主義**といえます。

繰越明許費補正は、この単年度主義や上記の会計年度独立の原則の例外の措置といえます。

常任委員会における審査内容の報告



委員会名

総務常任委員会

議案名

議案第1号 令和5年度宜野湾市一般会計補正予算（第8号）
【審査：令和6年3月定例会】

議案等の主な内容

令和5年度宜野湾市一般会計予算について、補正額として1億7,958万8千円を増額し、予算総額を歳入歳出それぞれ573億4,527万2千円とする内容です。

宜野湾市西海岸音楽活性化等推進事業における海浜公園屋外劇場建設工事の建築工事入札が4回にわたり不調となり契約が締結されないことで、同事業が次年度に繰越となった件について質疑がなされました。

審査内容（質疑応答、議員間討議）

【質疑】

- ・入札不調となった理由及び今後の対策について

【答弁】

- ・工事の見積もりを取った時点より、県内のマンション等の建設工事が増えた関係で、人件費が高騰しており、見積もり時の価格では、型枠等の下請け業者が確保できないことにより予定価格を超過したものと認識している。今後は、業者から工事の実施可能な見積もりを取り、コンサルタント等とも相談した上で、市の方針を協議していく。

【質疑】

- ・建築工事の入札不調に伴い、電気設備・機械設備の落札業者は施工できない状態であるが、それに関しどのような調整がなされているか。

【答弁】

- ・落札業者には状況を説明の上、工事の一時中止を伝えていることから、資材等の発注はなされていないが、業者からは工事の事前準備として技術者の確保はなされており、その分の人件費は負担してほしいとの要望があった。

【提言】

- ・当該工事は高額の事業費が計上されているが、それが今回繰越となっている状況を重く受け止めるべきであり、次年度に向け工事が実施できるよう、担当部署のみならず、市行政の責任者である市長や副市長を中心に対策を行ってほしい。

。

表 決

全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

～参考資料～

【資料①】 事業概要

【資料②】 海浜公園屋外劇場イメージ図

資料①

款	8	項	3	目	5	事業期間	令和元年度～令和7年度	継続事業
事業名	宜野湾市西海岸地域音楽活性化等推進事業(補助)							
担当部署	建設部 施設管理課							
総合計画	基本目標	目標5安全・快適で持続的発展が可能なまち						
	基本施策	8.公園・緑地及び墓園等の整備						
	施策	②都市公園等の維持・管理運営						

1. 事業の目的

宜野湾市海浜公園屋外劇場は完成から30年以上経過しており、老朽化に対する補修、または更新の課題を抱えている。それらの課題を踏まえ、浦添北道路の開通等による那覇空港などからのアクセス向上や、西海岸地域の中心的な位置を活かし、コンサートや各種イベントの更なる需要に応えられる機能をもった施設にすることで、本市はもとより、周辺市町村及び沖縄県の経済効果・賑わいの創出に寄与することを目的とする。

2. 事業の効果

老朽化が進行している既設屋外劇場を建替えることで機能強化と規模拡大が図られるとともに、音楽活動及びファンの交流拠点として、また県内外のアーティストによるコンサートや各種イベント等の需要増大により、本市西海岸への入域者数増加と、それに伴う経済効果が期待される。

3. 関係法令及び条例等

- ・都市公園法
- ・沖縄振興特別措置法

4. 財源措置及び将来にわたる費用

単位:千円

令和6年度当初予算額		令和7年度計画(予定)		令和8年度計画(予定)	
事業費	1,419,833	事業費	1,038,890	事業費	
財源内訳		財源内訳		財源内訳	
国	1,107,361	国	791,310	国	
県		県		県	
地方債	276,800	地方債	197,800	地方債	
その他		その他		その他	
一般財源	35,672	一般財源	49,780	一般財源	

变更前



变更后

